

### 3. 本研究の目的

本研究は、医療従事者（看護師、准看護師、臨床検査技師、歯科衛生士）養成課程における B 型肝炎に関する教育の実施状況を明らかにすることを目的とする。

## B. 研究方法

本研究は、「医療従事者養成課程における B 型肝炎に関する教育についての研究」調査票を用いた横断研究として実施した。

### 1. 研究対象

研究対象本研究の対象者は、都道府県知事指定の看護師、准看護師、臨床検査技師、歯科衛生士の全養成所であった。

・看護師養成所 3 年課程 537 校、2 年課程 170 校（平成 28 年 9 月現在）

・准看護師養成所 218 校（平成 28 年 9 月現在）

・臨床検査技師養成所 23 校（平成 28 年 9 月現在）

・歯科衛生士養成所 147 校（平成 28 年 9 月現在）  
以上、計 1095 校。

### 2. データ収集期間

平成 28 年 10 月 28 日～平成 28 年 12 月 15 日

### 3. データ収集項目

データ収集は、以下の項目について行った。

#### 1) 基礎情報

養成課程の種類、所在する都道府県、設置主体、病院（診療所）の所有、1 学年の定員数、B 型肝炎ウイルス抗体価検査、ワクチン接種など

#### 2) B 型肝炎等に関する教育内容・方法

標準予防策、感染経路別予防策の講義の有無、個人防護具の着脱の学内演習の実施の有無、B 型肝炎ウイルスならびに B 型肝炎ウイルス感染症、感染経路、具体的な隔離予防策についての講義の有無

3) 肝炎ウイルス感染者及び肝炎患者に関する偏見差別防止の啓発教育の実施の有無とその教育内容

#### 4) B 型肝炎ウイルス感染者、肝炎患者、家

族からの声を直接聞く機会となる授業（特別講演）の実施の有無、実施している場合はそのきっかけ、教育内容、利点・問題点、学生の反応

### 4. 質問紙の配布と回収

1) 研究対象施設への依頼・質問紙の配布方法

都道府県知事指定の看護師、准看護師、臨床検査技師、歯科衛生士の各養成課程を対象とし、各養成所の最高責任者に調査参加への依頼文書と質問紙を郵送した。依頼文書には、本研究の目的、方法、倫理的配慮等について記載した。

#### 2) 質問紙の回収方法

質問紙への回答後は、同封した返信用封筒に記入済みの質問紙を入れ、厳封し、投函してもらうことを依頼した。本質問紙の返送をもって、本研究への協力に同意をしたものとした。

### 5. データ分析方法

収集したデータについては、記述統計を用いて、項目別単純集計、項目間クロス集計を行った。自由記載としている項目については、各項目についての記載内容を Nvivo（QSR International）を用いて整理し、分類を行った。

### 6. 倫理的配慮

本研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠し、宮城大学研究倫理専門委員会の承認を受けた上で調査を実施した（承認番号 宮城大第 1080 号）。

## C. 研究結果

看護師養成所 3 年課程 537 校、2 年課程 170 校に配布をし、400 校から質問紙が返送された（回収率 56.6%）。准看護師養成所 218 校のうち、158 校から質問紙が返送された（回収率 72.5%）。臨床検査技師養成所 23 校のうち、10 校から質問紙が返送された（回収率 43.5%）。歯科衛生士養成所 147 校のうち、100 校から質問紙が返送された（回収率 68.0%）。

4 職種の養成課程全体の回収率は、61.0%であった。